



新・みやぎ・シー・メール第45号

発行：令和3年12月6日

宮城県水産技術総合センター 〒986-2135 宮城県石巻市渡波字袖ノ浜 97-6

TEL: 0225-24-0159 FAX: 0225-97-3444

第40回全国豊かな海づくり大会を終えて

養殖生産チーム

1 第40回全国豊かな海づくり大会を終えて

令和3年10月3日に、水産業界にとって一大イベントである「第40回全国豊かな海づくり大会」が石巻市で開催されました。東日本大震災で、全国の皆様からいただいた数多くのご支援に対する感謝の想いと、復興が進んだ本県水産業の姿を全国に伝えることが出来ました。

魚市場で開催された放流行事では、招待者の皆様にホシガレイとヒラメを放流していただきました(図1)。放流したホシガレイは、水産技術総合センターで生産したものです。今回は、ホシガレイの種苗生産について紹介致します。



図1 放流行事の様子

2 ホシガレイの種苗生産について

ホシガレイは、カレイ科魚類で全長60cm程度に成長します。本県では「はだかれい」と呼ばれ、刺し網や底曳き網などで漁獲されます。大変美味しい魚で、高値で取引されています。

本県では、ホシガレイ資源の増大を目的として、種苗を生産し、放流してきました。一時、震災で途切れましたが、2014年から再開しております。

当所では、大会で放流するホシガレイを2月に卵からふ化させ、我が子のように大切に飼育してきました。

仔魚は、ふ化後5日目には全長5.6mm程度に成長し(図2)、活発に動物プランクトンを摂餌

しました。ふ化後33日目には全長1.3cm程度に成長しました(図3)。この時期に、左体側の眼球が右体側へ移行し始め(変態)、着底を開始しますが、まだ体が完全に出来ておらず、斃死しやすいため、飼育担当者にとっては胃の痛い日々が続きました。



図2 ふ化後5日目

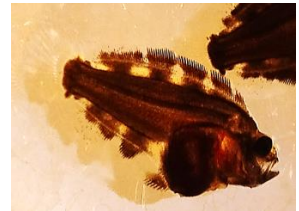


図3 ふ化後33日目

ふ化後2ヶ月で、ホシガレイらしい形態(変態完了)になり、全長2.5cm程度まで成長しました。以降は体が強くなり、配合飼料を積極的に摂餌し、大会までには、全長13cmまで成長しました(図4)。

ホシガレイは大会で400尾、大会記念リレー放流等で約6,600尾が放流されました。飼育担当者は、ホシガレイが海へ旅立っていく姿を見てほっとするとともに、一抹の寂しさが去来しました。放流魚が海で大きく成長する事を祈っています。



図4 大会時のホシガレイ(ふ化後225日目)

3 これからの放流について

今年度、本県ではホシガレイ、ヒラメ、アワビ、アカガイの放流を行いました。漁業者ならびに県民の皆様のために、今後も資源の増大を目指して、健全な種苗を育てて放流し、宮城の豊かな海づくりを支えていきたいと思ひます。

宮城県水産技術総合センター

ホームページ URL: <https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/mtsc/>